

HOP, STEP, JUMP in 標津

萌える海と大地 さわやか交流郷

広報しづ
11
1999
No.393



大畑町に響く友好のハーモニー

10月15日、町内の女性コーラスグループ・グリーンフレンズをはじめとする訪問団一行28人が友好都市青森県大畑町を訪問しました。

今回の訪問は、標津町120年を記念し、芸能文化の交流が目的。交流会では合わせて104人が参加。大畑町から同町連合会婦人会による「大畑音頭」や「手踊り」を披露。本町からグリーンフレンズによる町120年記念讃歌「SHIBETSU」など3曲を披露し、そのさわやかなハーモニーに会場から大きな拍手が送られました。

また、訪問団が法被を着て「キラリ音頭」を踊り出すと、大畑町の方々も飛び入りで加わるなど会場はすっかり友好ムードに。最後に知床旅情を全員で合唱し（写真）、再会を誓いました。

主な記事

- ◆ 「今、私たちは何をすべきか」
～標津の子どもを育てる町民の集い開く～
- ◆ あなたにスポット

何をすべきか

育てる町民の集い開く～



北海道教育大学釧路校
助教授 玉井 康之氏

基調講演

「青少年の人間関係 の実態と課題」

八月三十一日未明、中標津町で標津高校二年の男子生徒が集団暴行で死亡する凶悪事件が起こり、私たちは大きな衝撃と深い悲しみを受けました。二度とこのような悲惨な事件を起こさないために、九月二十八日、あすばるで「標津の子どもを育てる町民の集い」（健全な青少年を育てる標津町民の会主催）を開きました。北海道教育大学釧路校の玉井助教授の基調講演やシンポジウムが行われ、会場の約三百人は、真剣に耳を傾けていました。

また、最後に青少年の問題行動の根絶のため、強い意志をもって取り組む決議文を採択しました。

現代の青少年は、時代の流れや社会的背景などにより、人間関係の個別化、コミュニケーション能力や生活能力の欠如という特徴を持っています。

近年のいじめ問題を見ていると、明らかに強い者が弱い者に対して攻撃をするというものです。いじめられて困っている様子を見て喜ぶ。すなわちそこには、まったく本来の人間関係がなく、いじめそのものを楽しむという傾向があります。それが長期的になり、陰湿・巧妙・残酷で、相手の痛みが分からないという現象

が起こっています。いじめには「いじめられる者」と「いじめられる者」のほかに「観衆」と「傍観者」がいます。その観衆と傍観者で実に八十%以上を占めていて、現代の子どもたちはどうしても見て見ぬふりをしてしまう。また、複数にいじめられる「集団化」やいじめを受けた者がさらに弱い者をはじめ「二重化」という非常に複雑な構造を呈しています。実際に子どもたちはどのようなケートでは、八・九割が「かわ

家庭・学校・地域の連携が大事

いそう」と思っています。しかし、いじめに加わらなければ今度自分がターゲットにされるといった意識がいじめを解決しないという状況にします。いじめの側も実は本来いいこととは思っているわけではなく、何らかのストレスや他人から認められたい、注目されたいと思っている中で、潜在的には自信をなくして卑屈になり、その結果が弱い者に発散する形でその矛先が向けられています。人間というのは、回りから見

られたり、ほめられたり、そういう中で成長していくもの。いろいろなことを含めて、家庭・学校・地域が子どもたちについて情報交換をしていくことがこれから求められています。そういった雰囲気をお互いにつくっていくことがあらゆるところで教育の大事な原点となります。子どもたちは、問題行動があるとは何らかのシグナルを出します。それは子どもの特性に応じて一様ではありませんが、そのシグナルをとらえて、子どもたちを悪い環境から守っていくことが非常に大事。問題が起きてから指導するのでは遅いのです。

我々は、日常の中で、子どもたちを育てていく力というものを意外と忘れてしまっています。そのことが教育的に非常に大切であるということをもう一度再認識して取り組んでいく必要があります。それは教育関係者だけでなく、地域・家庭全体がこの問題にどう取り組んでいくか意識していくことがこれから大事なのではないのでしょうか。

今、私たちは

～標津の子どもを

標津高校生 殺害事件…

宿野くんが亡くなったことについてですが、本校の事件についてですが、本校の

解決するということでもありません。私は現代社会

充実感を持ってなくなり、今、目

を行っていきます。

シンポジウム
「今、私たちは何をすべきか」

亡くなったということについて

必要だと思えます。情報化社会

子どもが夢や希望の持てるよう



- ### シンポジウム出席者
- コーディネーター**
松本 裕さん (北標津小中学校教頭)
- パネラー**
長谷川祐也さん (標津高校校長)
戸田 秀数さん (標津中学校教頭)
笹本 裕一さん (標津小学校教諭)
宇野美奈子さん (双葉保育園保育士)
畠山 秀昭さん (父母代表)
皆川 美雪さん (標津高校卒業生)

地域ぐるみでの 取り組みを

戸田 子どもを健全に育成する新しい取り組みというものを構築することが必要です。次の二点についてお話しします。

一つは、子どもを理解する。子どもと関わる。子どもに声をかけたり、子どもの声に耳を傾けたり、子どもと一緒に活動することを通して育てていく。これは学校でも家庭でも、社会でも取り組む必要があると思いません。あいさつも重要です。このような取り組みを、町民みんなで関わりをもつて大人社会の良いい連携を生んだり、あるいは、地域で子どもを育てるといふ土壌が強化されたり、今、子育てに困っている家庭を支援するきっかけになっていくのではないかと考えます。

二点目は、大人として、人間として生きることの模範を見せ



ること。子どもたちにこんな大人になりたいという思いを持たせうる社会を今からでもつくっていかねければならない。以上の取り組みを家庭、学校、地域社会で連携しながら進めていくことが必要です。

お父さん、お母さんの力も必要

笹本 事件後、小学校としては、従来から取り組んでいるのですが、改めて次のことをしていこうと話しました。

一つ目は、話し合い、学びあ。悪いことを黙って見ていることは悪い。勇気を出して正しいことを考えていくこと。二つ目は、命と共生の教育活動を進めること。三つ目は、いじめに對する指導の原則を踏まえ、自浄力を引き出す学級の討論を始めていくことです。

今の学校は、いろいろな問題を抱えています。教員だけでは

だめなんです。生徒のすさまじい非行があったある中学校が立ち直ったことを耳にしました。そのきっかけは、お父さんやお母さん方の奮闘だったようです。自分の子どもを良くしたいと思うなら、まわりの子どもも良くしなければならぬと頑張ったと。この地域でも問われていることなのかと思えます。

愛情表現をストレートに伝えていきたい

宇野 保育士になって二十一年になります。昔と今の違いを話してくださいということでしたが、根本的には何も変わっていないような気がします。変わったのは、環境だと思えます。

昔はテレビゲームなどもなかったから、時間を見つけては遊び相手になったり、おしゃべりもたくさんしていました。赤ちゃんの頃には、子守歌も歌いました。それが自然で当たり前で、そんな中で親の思いや愛情が伝わっていたんだと思います。

今は、環境の変化で子どもに親の思いや愛情が届きづらくなっているんだということを、親自身が自覚し、意識して「お前のことを思っているんだよ。愛しているんだよ」ってことをス

トレイトに伝えていかなければいけないと思います。

親が変わっていかなくては

畠山 最近、子どもが変わったといいますが、私の考えとしては、実際は子どもが変わったのではなく、親が変わったから子どもが変わったのだと思います。親が甘やかして育てたことが原因だと思っています。私の子どもに父さんをどう思うかって聞くと「優しいけど、おっかない」と言っています。ただ自分としては、おっかないだけでなく、子どもと一緒に山菜取りに行くなど、一緒に時間を大切にしています。

「三つ子の魂百まで」ということわざがありますが、しつけは本当に幼児期に行うことが大切。この基礎段階がしっかりしていると、先生方が指導されてもそんなに難しいものではないと思います。今回のような事件を起こさないためにも、まず親が変わっていかねばならないと思っています。

地域の一員として
役目を果たしたい

皆川 私は標準高校第四十三

期生（三年前卒業）です。今回の事件の根底にあるものは、簡単な言葉かもしれないですが、いじめであったと思います。それも大きないじめです。私の高校在学中にもいじめはありません。一人の生徒を無視することからはじまり、不愉快な言葉をあびせたり、ひどい時には殴る、蹴るの暴力行為も見られました。

いじめが大きくなる理由は、いじめを行う本人はもちろんですが、それをただ見ている人、気づかない先生・学校そして、そんなことも考えていない親、すべてが原因だったと思います。今回の事件も同じことだと考えます。ですから、このような事件は、いつでも、どこでも起こりうるものとして切実に考えていかなければなりません。そこで、私たちは何をすべきか。まず、学校がすべきことは、生徒が安心して通える学校、心のゆとりが持てる学校、生徒一人ひとりが生き生きと活動できる学校づくり。生徒がすべきことは、高校生活の三年間に目的を持って生活することです。家庭がすべきことは、子どもと向き合って話をする中で子どもの考えを理解してあげられるの



それぞれの意見を述べる
パネラーの皆さん

ではないでしょうか。地域社会がすべきことは、学校や生徒の実態を知り、それに協力する姿勢を持つことだと思います。最後に私がすべきこと、それは後輩たちの手本となるような社会人であることだと思います。

私自身、立派な高校生活を送ったわけではなく、この場で発表するような立派な人間ではありませんが、微力ながら、地域・学校・家庭のトライアングルの中に入り、地域の一員として必要な役目を果たすこと、それが私にできることだと考えています。

（会場の方からの意見…）

●教育というのは、英語でエデュケーションと言って、引き出すという意味です。それを

（家庭で）「勉強しなさい」ばかりでは、学校にも行きたくなる。ところが、やさしい言葉をかけてあげることでも伸びてきます。良いことをしてもほめることを知らないで、悪いことばかりを怒っている。

今、家庭教育が非常に劣っているの、これからの青少年を立派にするためには、家庭教育の勉強が大切。それをみんなで学んでいきたいと思っています。

●「健全な青少年を育てる標津町民の会」が、昭和五十七年に結成以来、四、五年は活動していました。私もその中の一人としてPTA、学校の先生、そして町内会と三者が集まって、子どもに対する問題点とか今後どうしていくかと議論を重ねてきました。ところがいつのまにか消えてしまった。

そして今、ここで会合を開いたのは、一つの事件が起きてか

らという感じですが。せっかくこの会という組織があるのですから、この会を育てることによって、青少年問題も解決されていくと思います。

松本 それぞれ具体的な提案もありました。既存の組織、団体で、もう一度見直して、新たに組み直していくべきだとの意見もあったと思います。それぞれの立場で見直すんだということだと思います。そして、大人社会が子どもの眼にどう映っているのか、つまり、あんな大人になりたいなという大人であるのかと、私たち一人ひとりに問いかけてられている、ここに原点があるのかと思いました。

具体的な運動については、あらゆる組織、団体が、この後に会合を開いていただいて、何をすべきなのか、何ができるのか、どことどのようにつながりをもつていったらいいのかを真剣に考えていきたいと思っています。

玉井先生の話にもあったように、小さな一歩から始めることなんだと思います。以上を確認して、シンポジウムを閉じたいと思います。

※「集い」の内容は、要旨のみ掲載しました。

決議文

八月三十一日未明、中標津町において発生した標津高校二年宿野勝久くんの殺害事件は、犯人が高校生を含む未成年者であったことから、私たちに激しい衝撃と深い悲しみをもたらしました。

特に、将来ある尊い命が、理不尽な暴力によって断ち切られたことは、誠に痛ましい限りであり、残念でなりません。子どもが、心身ともに健康でたくましく育つためには、家庭はもとより地域や学校などの強い連帯意識と心の絆がなくてはなりません。また、親にとって子育ては、人生の最大の喜びであり、希望であり、楽しみでありました。

しかし、急速な社会変化は、時として、予想のできない不幸な結果をもたらします。特に、指摘できることは、家庭や地域で人と人との心の絆が希薄になり、青少年の問題行動が加速している状況にあると言えることです。その勢いは、学校など教育機関の範疇を越えて広がっております。

このような状況下にあることを認識し、今こそ私たち町民一人ひとりが、町民憲章のもと、青少年の健全育成をめざして問題行動根絶のため、強い決意をもって、次のことに取り組むことを決議します。

- 一、「あいさつ」などの声かけを日常的に行い、「心のふれあう機会」の輪を広げます。
- 一、地域ぐるみで情報を交換し合い、暴力行為を防ぎ、健全な交友の在り方を教えます。
- 一、未成年者の喫煙禁止、交通規則の順守、公衆道徳など社会のルールを守らせませます。
- 一、深夜外出、無断外泊をさせない、たまり場を作らない取り組みをします。
- 一、「車の暴走行為をしない、させない」取り組みをします。

平成十一年九月二十八日

健全な青少年を育てる標津町民の会
標津の子どもを育てる町民の集い参加者一同

太田由太郎氏に勲六等単光旭日章



(写真右から佐野根室支庁長、太田氏、恵子夫人、小田桐町長)

太田由太郎氏
(八八歳・忠類)が「勲六等単
光旭日章」を受章しました。

同氏は昭和三十八年、町議会
議員に当選、以来昭和六十二年
までの六期二十三年の永きにわ
たり、町政の伸展や住民福祉の
向上に献身し、本町の産業経済
の振興をはじめ地方自治の発展
に大きく貢献。さらに、永年に
わたる保護司や民生委員として

の地道な活動も認められまし
た。

十月十三日、小田桐町長同席
のもと、役場で佐野根室支庁長
から叙勲の伝達式が行われ、こ
の席で太田氏は「このような栄
誉ある叙勲を受章できたのも町
民皆様のお陰で、身に余る光栄
です。今後も町の発展のため頑
張っていききたい」と受章の喜び
を述べました。

サケのつかみどりに 悪戦苦闘

第三十五回しべつあきあじまつりが九月二十六日、サーモンパーク広場で開かれ、町内外から一万人を超える人出でにぎわいました。

恒例となったサケのつかみどり競争では、子供から大人までが参加し、元気なサケに悪戦苦闘する場面も(写真)。

また、イクラ丼の千五百食無料提供では、配布前から長蛇の列ができたほか、サケの原価販



売やチャンチャン焼きなどの出店が人気を呼びました。



管内の障害児学級の子供たちが楽しく交流

根室管内の障害児学級に通う児童・生徒が集う年一回の交流会(町障害児教育協議会主催)が九月二十日、あすばるとサーモン科学館で開かれました。

児童・生徒のほか、教諭、父母ら約百四十人が参加。「サケ釣りゲーム」(写真)や同科学館の見学などを通して交流。参加者は、楽しいひとときを過ごしました。

札幌の演奏に 酔いしれる

北海道教職員厚生会創立二十周年と標津町百二十年を記念して、札幌交響楽団演奏会が十月十九日、町総合体育館で開かれ



ました。

ブラームスの「ハンガリー舞曲第五番」やモーツァルトの「ジュピター」など親しみのある七曲を演奏。会場を訪れた子供から大人まで約千人が、すばらしい演奏に聞き入っていました。

川北中・吹奏楽部が 全国大会出場

このほど開かれた日本管打吹奏楽学会など主催の日本管楽合奏コンテスト（テープ審査）で、川北中学校の吹奏楽部が最優秀賞に輝き、平成八年度に続き二度目の全国大会出場となりました。

同校の吹奏楽部は、部員十二人の小編成ながら今年、釧路地区吹奏楽コンクールで二年振りの全国大会出場を果たすなどの活躍ぶり。

全国大会は、十一月十三日に東京で開かれ、活躍が期待されます。同校吹奏楽部顧問の岩口教諭



「北の交流大使」に 東京在住の西山さん

このほど、スポーツフィッシングの第一人者であり、数多くのテレビの釣り番組のキャスターや作家として活躍中の西山徹さん（50歳）が本町の「北の交流大使」に委嘱されました。

同大使制度は、都市住民が身につけた技術や専門知識を農山漁村地域の活性化のために活かしてもらうことを目的に、昨年からはスタートした北海道の事業。

今後、西山さんは本町に拠点をおきながら、町商工会の地域活性化委員会顧問として、様々な面でのまちづくりのアドバイザー役で活躍が期待されます。

は「少人数ですが、全国大会で精一杯頑張りたい」と力強く話してくれました。



花嫁対策で首都圏の 女性と交流

十月八日から十一日までの四日間、農村花嫁対策として町農業後継者対策協議会主催の地元酪農青年と首都圏在住の女性との交流会が開かれました。

同青年の企画のもとに、忠類川でのフィッシング体験や、パークゴルフのほか、酪農家へのファームステイなどで交流を深めました。



女性消防団員らが 火災予防を呼び掛ける

標津消防署の女性消防団員十人と標津幼年消防クラブ員四十二人（標津幼稚園児）が「秋の全道火災予防運動」期間の初日となる十月十五日、国道二四四号沿いの標津駐在所前で火災予防を呼び掛ける街頭啓発を行いました。

啓発用のリーフレットや風船、同署職員手作りの「防火もち」をドライバー一人ひとりに手渡したほか、女性消防団員が標津市街の商店などを回り、ポスターを配布しました。同署では、本格的な冬を迎えることから「火の取り扱いには十分ご注意を」と呼び掛けています。



SPOT RIGHT ON YOU

あなたに スポット

5



開拓記念館の館内を説明する矢部さん

開拓当時の農機具や生活用品を集めた私設の開拓記念館「明治・大正・昭和 歴史と生活館」を昭和六十三年から開設している矢部さん（六四歳）。

昭和六十年から矢部さん所有の山林から、カラマツの間伐材を利用して、住宅裏手にログハウス三棟（平家建て十六m・同五十七m、半地下地上二階建て二百m）を建設。木材を木工場で製材させた以外は、すべて矢部さんの手作り。人出のいる作業は、家族に手伝ってもらった

そうです。「小さい頃から大工仕事が好きだったんですよ。仕事の合間を見ながら、夜遅くまで作業が続いたこともありましたが、大変だとは思いませんでしたよ」と、矢部さんは笑って話します。

矢部さんの両親が富山県から野付牛（現在の北見市）に入植したのは大正十三年。未開の根室原野の広大な土地を求めての入植は、過酷な気象条件、荒れ放題の原始林の開墾と、想像を絶するものだったといえます。

先人の苦勞を いつまでも偲びたい

矢部 武 さん
(北川北)

その当時から戦後まで使用していたプラウやイモ掘り機、足踏み式脱穀機など数々の農機具がこの記念館に大切に保存されています。

「先人の血と汗を流してきた苦勞を偲びたい。その努力があったからこそ今日の酪農がある。そのためにも、今の人たちにその当時に使われた農機具などを

一番最初に設置された電話機や大正時代の蓄音機、昭和二十年終戦当時のバッテリー付きのラジオ、大正末から昭和三十年頃まで地元川北にあった「川北劇場」に立て掛けていた柱時計、大正八年頃の川北小学校のオルガン（写真）など、どれも貴重なものばかり。

目で見て、手で触れてもらい、少しでも先人の苦勞を分かってもらいたい。この記念館を建てた経緯を話します。

蓄音機は今でも聴くことができるようで、当時のレコードは三百枚ほどもあります。来館する多くのお年寄りは、泉詩郎の「愛馬進軍歌」や岡晴夫の「長崎の花賣娘」などを聴いては「もう一曲、もう一曲」と言っていて、当時を思い出し涙を流すほど感激するそうです。

町内外から年間三百人が訪れており、「公的な施設でないのに、よくこんなに集めたものだね」と感心する声が多いとか。その数にして約三千点。農機具のまかにも、明治時代に道内で

これらの貴重な展示品は、矢部さんの今は亡き父・長蔵さんから受け継いだものや、自ら各地を奔走したり、友人などから協力してもらい集められました。また、このほかに建物の地下には、貴重なヒカリゴケが生息しています。

標津の海と川のサケたち

標津サーモン科学館
小宮山英重主任学芸員



17

オシヨロコマ

北 北海道にはオシヨロコマという名のイワナがいます。渡島半島南部や日高の南部での生の記録はありませんが、それ以外の地域なら川の源流付近など溪流に出かけていけば出会える可能性の高い魚です。札幌近郊や知床半島では、今ほととも泳ぎ上がることができないと思える落差五層以上もある滝の上にもいますので、かなり古い時代から北海道の川に棲みついていた魚と考えられます。

オシヨロコマという名前は、魚とは思えない一風変わった呼び名です。羅臼町にはオシヨロツコ（磯の窪みたる所・永田方正著「北海道蝦夷語地名解」）という川がありますが、この魚の名前がアイヌ語の由来かどうか定かではありません。

初 夏の頃のオシヨロコマは、銀色に輝く魚体にピンク色の小さな斑点がある美しい魚です。十一月の産卵期になると全体的に黒っぽい体色となり体側の赤点と腹側の赤い色が鮮やかに目立つようになります。体色の変化は、一匹づつ区別が可能なくらい個性的です。

北海道のオシヨロコマは、川で一生を過ごす（陸封型、または河川残留型と呼ばれる）のが大半です。三〜五年目くらいで大人になり、体長は十〜三十センチくらいになります。川で一生を送る場合は、大きくなりません。

人をあまり恐れない魚です。釣るのは比較的簡単です。釣りあげた魚をその場に放流してもまた釣れてしまう能天気なところがあります。

オシヨロコマは、森林の伐採が進んだ一九七〇年代に急激に数が減りました。しかし、森林

が回復してきた一九九〇年代には、生息数が回復しつつある場所もあります。

日 本の中でもっとも寒冷的な気候の地域の一つとして知られていて、知床半島は、特異的にオシヨロコマが多い地域です。

知床を代表する淡水魚といったらオシヨロコマと言ってもいいくらいこの地域の川では一般的な魚です。

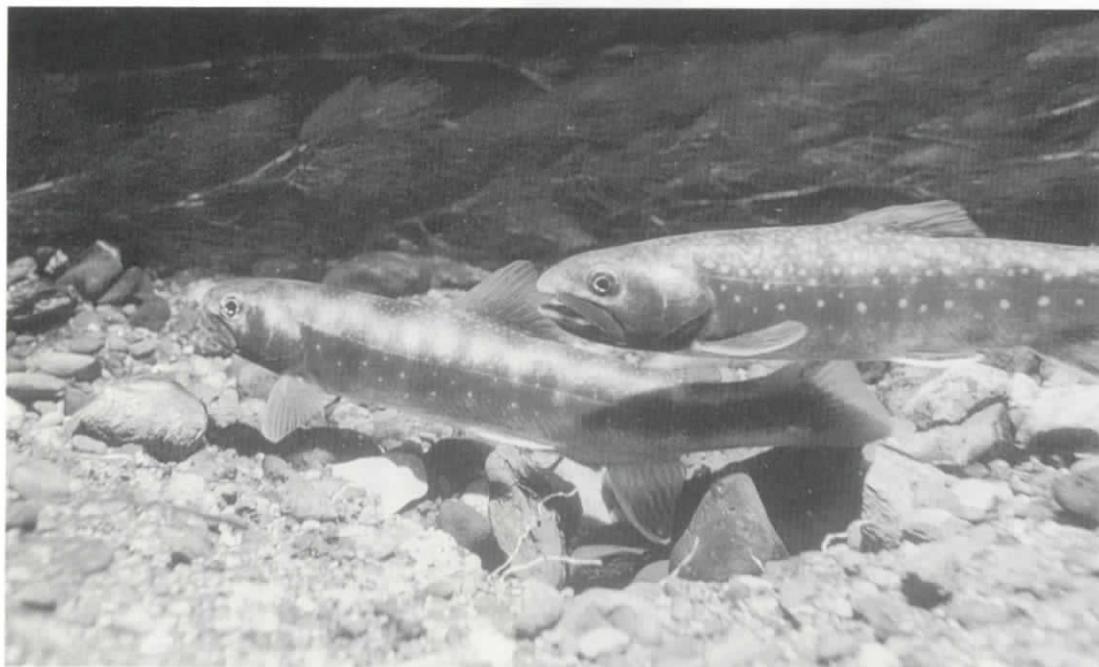
そんな気候風土を反映してか、標津町を含む知床半島周辺の海では、五〜八月頃降海型の

オシヨロコマがマスの定置網などで捕れます。

降 海型のオシヨロコマは、川にいるオシヨロコマの特徴である赤い斑点が見えない場合が多く、アメマスのような白い斑点があります。ただし、その斑点の大きさは瞳より小さく、また背中の色が青黒いことでアメマスとは区別ができます。今まで根室海峡で捕れたオシヨロコマのうち最大のものは、体長七十七センチ、体重三・四キログラム、推定年齢十二年魚のオスです。これは、一九九二年六月四日に羅臼町峯浜で漁獲されたものです。

オシヨロコマは北太平洋北部に広く分布しています。北へ行くに従い降海型がたくさん出現するようになります。知床半島付近は降海型が出現する南限の可能性ががあります。

また、オシヨロコマは、二十度を越える水温の高い状態が苦手な魚です。河畔林がなくなると夏の川の水温は高くなり、標津町内の川を見ていると森林が豊かだとオシヨロコマがたくさんいる印象があります。オシヨロコマは、森の豊かさを教えてくれる「ものさし」になる魚という気がします。



産卵行動中の河川残留型オシヨロコマのつがい（左がメス、右がオス）。

NHK 「ひるの散歩道」

公開録音終了



会場を沸かせた吉幾三さんと
司会者のトーク

熱唱する川中美幸さん

標津町百二十年記念事業の一環として、NHKと共催でNHKラジオ第一放送「ひるの散歩道」の公開録音が十月二十二日、町総合体育館で行われました。

1,300人が

歌とトークを楽しむ

小田桐町長、NHK釧路放送局・長谷川副局長のあいさつに続き、「メッセンジャーズ」の演奏に同放送局の高市佳明アナウンサーの司会で、ゲストの川中美幸さん、松前ひろ子さん、水田竜子さん、吉幾三さんがそれぞれの得意の持ち歌を

披露しました。四人のゲストによる一時間半にわたる歌とトークは、抽選で選ばれた約千三百人の観客を大いに楽しませてくれました。

当日の様子は、十月二十五日から二十七日までの三日間にすでに全国に向けて放送されました。番組の中では、本町のPRと観客の笑い声・拍手が同時に全国のラジオファンに届けられました。



ゲストの歌やトーク
に会場は盛り上がりました。

公開録音に先立ち当日、町生涯学習センター・あすばるで「NHK視聴者懇談会」が開かれました。

この懇談会は、NHK釧路放送局が地元で活躍しているオピニオンリーダーの皆さんからNHKに対しての意見や要望をお聞きし、NHKの経営や番組に反映することを目的に開かれたものです。

まず最初に、「ひるの散歩道」の番組制作に関わっているNHKラジオセンターの目根チーフ・プロデューサーから、番組制作の裏話などが披露されました。

その後、参加者の皆さんから積極的に、NHKに対する意見や要望、質問が寄せられました。



NHKに対する意見・要望が寄せられました。

標津町に“お天気カメラ”設置

NHK釧路放送局では、標津町120年を記念して、このほど標津町（標津漁協・屋上）に“お天気カメラ（ロボットカメラ）”を設置しました。NHKでは、このカメラの映像を使って、標津町の豊かな自然や活気あふれる標津漁港の様などを全国、全道に紹介します。

地域情報番組“情報プリズム釧路”にご意見・ご要望を!!

NHK釧路放送局では、午後6時台の地域情報番組「情報プリズム北海道」の中に、“情報プリズム釧路”のコーナー（月～金 午後6:49～6:59）を設けました。このコーナーでは、根室・釧路管内の皆さんに地域の話や出来事、生活情報などをお伝えしていきます。このコーナーに、皆さんのご意見、ご要望を、お手紙またはFAX(0154-42-2301)でお寄せください。

お問い合わせ先：NHK釧路放送局（〒085-8660 釧路市幣舞町3-8 TEL0154-41-9192）

～NHKは、あなたの受信料で支えられています～

テレビをお持ちの皆様は受信契約が必要です。衛星放送をご覧の方は衛星契約が必要です。

お受信
忘れ
ない
よう
に
約
束
を

受信料はテレビをお持ちの皆様にご負担いただくよう法律(放送法第32条)に定められています。この受信料制度により、特定の勢力や団体などから干渉を受けることなく、視聴者の皆様のご希望に沿った番組をお届けできます。

放送法第32条(受信契約及び受信料)
協会の放送を受信することのできる受信設備を設置した者は、協会とその放送の受信についての契約をしなければならない。

放送受信規約第5条(放送受信料支払いの義務)
放送受信契約者は、受信機の設置の月からその廃止の届け出のあった月の前月まで、1の放送受信契約につき、その種別および支払区分に従い、次の表に掲げる額の放送受信料(消費税を含む)を支払わなければならない。



BS・ハイビジョンは続々、ゾクゾク、魅力的な放送をお届けします。

カラー契約1か月 衛星契約1か月
NHK + 945円
1,345円
[口座振替・郵便振込]
楽しいBS放送がご覧になれます

受信料額表 ※消費税を含む		2か月払額	6か月前払額	12か月前払額
衛星カラー契約 (カラー契約を含む)	口座振替 継続振込	4,580円	13,090円	25,520円
	訪問集金	4,680円	13,390円	26,100円
カラー契約	口座振替 継続振込	2,690円	7,650円	14,910円
	訪問集金	2,790円	7,950円	15,490円

口座振替がお得で便利です!!

受信契約のお申し込みや転居のご連絡はNHKの担当者、または専用のNHKのフリーダイヤルへどうぞ

フリーダイヤル ☎0120-151515 (午前9時～午後8時/土・日・祝日も受付/通話料無料)

十月一日から介護保険準備のため要介護認定申請の受付が始まりました。

申請に基づき、訪問調査員が各申請者の自宅や施設を訪れ、身体状況などを把握するために、八十五項目の聞き取り調査を行っております(写真)。

この訪問調査の結果と主治医の意見書を基にして、申請者が



介護を必要とする状態(要支援、要介護状態)かどうかを判断するための介護認定審査が行われます。

標準町における介護保険対象者の状況については概ね次のとおりの見込みとなっております。

▽高齢者人口(六十五歳以上)
・千二百二十四人

▽要介護認定申請者見込み

・百二十人

現在、在宅福祉サービスを受

けられている方で、判定の結果、介護保険の対象にならない方(自立と判定された方)については、引き続きサービスが受けられるよう、町独自の事業として実施していく予定です。



なお、介護保険が適用される要支援、要介護状態とは、概ね下記のような身体の状態をいいます。

▽介護保険制度についてのお問い合わせ先

役場 福祉課介護保険担当

要介護認定基準

介護度	身体状況	身だしなみ、居室の掃除などの身の回りの世話	立ち上がり、片足での立位保持などの複雑な動作	歩行や両足の立位保持などの移動の動作	排泄や食事	問題行動や理解力
要支援	一部何らかの介助を必要とする。身だしなみ可。	何らかの支えを必要とすることがある。	何らかの支えを必要とすることがある。	排泄可能。食事などほとんど自分一人で行える。	問題行動なし。理解力低下なし。	在宅サービス利用限度額(見込み) 64,000円
要介護1	何らかの介助を必要とする。	何らかの支えを必要とする。	何らかの支えを必要とすることがある。	ほとんど自分一人で行える。	問題行動、理解力低下がみられることがある。	在宅サービス利用限度額(見込み) 170,000円
要介護2	全般に何らかの介助を必要とする。	何らかの支えを必要とする。	何らかの支えを必要とする。	何らかの介助を必要とすることがある。	問題行動、理解力低下がみられることがある。	在宅サービス利用限度額(見込み) 201,000円
要介護3	自分一人ではできない。	自分一人ではできない。	自分ではできないことがある。	自分一人ではできない。	問題行動、理解力の低下がみられることがある。	在宅サービス利用限度額(見込み) 274,000円
要介護4	ほとんどできない。	ほとんどできない。	自分一人ではできない。	ほとんどできない。	多くの問題行動、全般的な理解力の低下がみられることがある。	在宅サービス利用限度額(見込み) 313,000円
要介護5	ほとんどできない。	ほとんどできない。	ほとんどできない。	ほとんどできない。	多くの問題行動、全般的な理解力の低下がみられることがある。	在宅サービス利用限度額(見込み) 368,000円

INFORMATION

BOOK ROOM

☆おすすめ新着図書☆



「環境にやさしい商品 買っていいもの悪いもの」

武田 邦彦 著 青春出版社

みなさん、「買ってはいけない」は、もうお読みにになりましたか？（図書館にも入っています）読後、何も使えなくなってしまう！という感想も聞かれました。この本は、各メーカーの取り組みやエコマーク製品などを網羅的に紹介していますので、参考になるかと思えます。

* 詳しい新刊案内は、図書館や公共施設などに置いてあります。

今月の特集「ベストセラー」

読書の秋です。その年々に売れた本は、やはりいろんな影響を社会に与えているようですね（一昨年の「失楽園」など）。

ところで、文芸書の分野で9年連続上位3冊に入っている作家がいます。一体、誰でしょう？答えは図書館にあります！

ヒント：超訳と言えば…

〈図書館利用案内〉

■開館時間 午前10時～午後6時

■休館日 毎週月曜・祝祭日

みんなが加入し、みんなで支える“国民年金”

11月6日から11月12日は「年金週間」です

～国民年金基金に加入し、より豊かな老後の保障を！～

◇国民年金基金とは？

国民年金の保険料を納めている方に対して、老齢基礎年金とセットで厚生年金並みの老後の保障を行おうとする公的年金です。

老齢基礎年金の額は、現在満額で月額約67,000円で、これに上乗せした年金が必要だと考えている方には最適な年金制度です。

現在、国民年金基金制度創設以来8年が経過し、これまでに100万人を超える加入員数となっています。

◇保険料の全額が所得控除されます

納めた保険料は、年末調整や確定申告のときに申告すれば全額が所得控除の対象になります。また、受け取る年金は、公的年金等控除が適用されます。

★詳しくは、北海道国民年金基金

0120-012-969 〈フリーダイヤル（無料）〉

まで、お気軽にお問い合わせください。

献血にご協力をお願いします

献血が次の日程で行われます。

献血は、誰もができる身近なボランティアです。

多くの皆様のご協力をお願いします。

◇11月24日（水）

- ・役場…………… 10時30分～12時
- ・標津病院…………… 12時30分～13時30分
- ・しべつフードセンター… 15時～17時

◇11月26日（金）

- ・根釧東部森林管理署…… 9時～10時30分
- ・自衛隊標津分屯地…… 11時～12時
- ・標津漁業協同組合…… 13時30分～14時30分
- ・標津町農業協同組合…… 15時10分～16時30分

★お問い合わせは、町社会福祉協議会（☎2-1515）まで。

参加者募集

サーモン科学館 秋の実習を行います

■実習日程

- ①11月3日(水) 10時～15時 サケの採卵実習
- ②11月7日(日) 10時～15時 産卵行動観察会
- ③11月14日(日) 10時～15時 サケの採卵実習
- ④11月21日(日) 10時～15時 産卵行動観察会
- ⑤11月23日(火) 10時～15時 サケの採卵実習
- ⑥11月24日(水) 10時～15時 産卵行動観察会

■定員 20人

■参加要領

住所、氏名、年齢、電話番号、希望日を明記のうえ、はがき、またはFAXでお申込みください。科学館でも直接受け付けます。

■参加料 無料

■用意するもの

昼食、汚れていい服装、軍手、タオル、産卵行動観察会に参加する方は長靴(胴付きがベスト)、防寒着も必要。偏光グラスを持っている方は持参してください。

■申込締切 各実施日の前日まで

★申込み・お問い合わせはサーモン科学館まで。

住所：標津町北1条西6丁目1番1-1号

☎：2-1141

FAX：2-1112

総合福祉センター

11月1日オープン

～健康・医療・福祉の拠点施設～

友好都市・青森県
大畑町では…

④



オープンする総合福祉センター「ふれあいかん」

乳幼児からお年寄りまでの健康づくりと福祉の拠点施設として、平成10年度から建設が進められていた総合福祉センターが十一月一日オープンします。

同センターは、鉄筋コンクリート二階建て、総面積二千五百三十六平方メートル。

殊浴室、機能回復・日常生活訓練室などを備えています。愛称は町民から募集し、「ふれあいかん」に決まりました。

介護保険サービスや各種健診など健康と福祉部門の連携が強化され、さらに隣

接する大畑病院を含めて、健康・医療・福祉の三部門のサービスがより効果的に行われることとなります。

※このコーナーは、友好都市の互いの話題を毎月、広報紙で紹介しています。

町長の動静

(9月21日～10月20日)

【9月22日】▽標津町総合防災訓練▽米海兵隊との交流会(別海町)

【9月27日】▽職員共済組合短期福利厚生事業委員会(札幌市)

【9月29日】▽道町村会水産林務常任委員会(札幌市)

【9月30日】▽道町村会理事会(浦河町)

【10月4～5日】▽農業農村振興対策要請(札幌市及び東京都)

【10月6日】▽北海道苗木価格委員会(札幌市)

【10月7日】▽国民健康保険団体連合会臨時総会及び国保財政安定強化北海道大会(札幌市)

【10月8日】▽都会女性と農業後継者交流会▽教育委員辞令交付

【10月13日】▽太田由太郎氏叙勲伝達式

【10月19日】▽町独自要望(東京都)

【10月20日】▽ウタリ対策事業予算中央要請(東京都)

(以上主なもの)

INFORMATION

交通安全・防災

チャイルドシートの 使用が義務化されます

平成12年4月1日から、6歳未満の幼児を自動車に乗車させる場合、チャイルドシートを使用する義務が運転者に課せられます。

チャイルドシートは、道路運送車両法の「保安基準」に適合するもので、幼児の発育程度に応じた形状のものを使用しなければなりません。

該当されるご家庭は、早めの準備をお願いします。

—中標津警察署・住民課—

備えていますか？ 住宅用消火器

火災の原因として、調理器具によるものが毎年上位にランクされています。

もし、天ぷら油が燃え出したときなどにも、消火器が備え付けてあればすぐに対処できます。

住宅用消火器は、軽量で操作も簡単です。一家に一台必ず備えましょう。

—標津消防署—

11月9日は 「119番」の日です

■119番の正しい通報のしかた

・何が起きたかははっきり伝えてください。

「火事です」「救急です」

◇火災の場合…

・住所、氏名、目標、どこから火が出たのかをはっきり伝えてください。

◇救急の場合…

・住所、氏名、目標などをはっきり伝えてください。

～注・意・事・項～

・消防サイレンの吹鳴時に、119番を使用する際の問い合わせがたびたびあります。この場合、救急及び消火作業に大変支障を来しますので、お問い合わせは、**テレホンガイド(☎2-1313)**をご利用ください。

・携帯電話からの119番通報は、直接釧路市消防本部に通報されますので、標津消防署(☎2-2319)にお掛けくださるようお願いいたします。

—標津消防署—

戸籍の窓口から

(9月11日～10月10日届出分)

ご結婚おめでとう

夫の氏名	妻の氏名	町内会名
木村 幸裕さん	小林 美幸さん	南川 北
上田 高弘さん	安里 薫さん	望ヶ丘町
齊藤 幸雄さん	榎木 友紀さん	旭 町
相内 仙一さん	中屋 祐子さん	桜ヶ丘町
小倉 恵さん	藤澤佳緒梨さん	本 町
清野 義人さん	國吉 純子さん	曙 町
長谷川秀吾さん	米持真喜子さん	桜木町

お誕生おめでとう

おなまえ	町内会名	保護者の氏名
金田 彩希ちゃん	緑 町	金田 順也 美佐子
高橋 あみちゃん	若草町	高橋 一之代 玉
阿部 瑛志くん	寿 町	阿部 仁志 佳那枝
合田 純平くん	茶志骨 パイロット	合田 和広 美
佐々木祐哉くん	桜木町	佐々木 浩一 美香
藤山 葵ちゃん	寿 町	藤山 美智夫 ルリ子

おくやみ申し上げます

氏 名	町内会名	年 齢
鈴木 輝英さん	川北町	56歳
大角 進さん	弥栄町	77歳

み・ん・な・の・掲・示・板

第39回

標津町弁論・研究発表大会

日 時 11月17日(水)
9時10分～13時50分

場 所 あすばる

主 催 町中学校連盟

後 援 町教育委員会・町文化祭実行委員会・健全な青少年を育てる標津町民の会

皆さんの多数のお越しをお待ちしています。

★お問い合わせ先

標津町中学校連盟事務局(古多糠中学校内 ☎4-2227)まで。

寄付・寄贈ありがとうございました

●北方領土返還運動啓発費として町に

・ゼンセン同盟

●奨学資金貸付基金として町に—

・大石正則さん

●標津町体育文化振興基金として町に

・ふれあいスポーツデー実行委員会
・ヨガサークル・湯浅清吉さん

●町社会福祉協議会に—

見舞金の一部を
・南光雄さん・三戸トシさん
活動資金として
・聖友標津支所
・標津漁協住吉婦人部

●はまなす苑に—

・古多糠老人クラブ
・川北染覚寺仏教婦人会

●標津病院に—

・古多糠老人クラブ・島貫常広さん
・木村武司さん(兵庫県)
・大須賀セツ子さん

●図書館に—

・鈴木真由美さん・谷村悟さん
・村山さとみさん・矢吹ふみ代さん
・大野えりかさん・中村裕美子さん
・本間元江さん・伊藤洋子さん

●ポー川史跡自然公園に—

・駒山修治さん・板垣敏さん

INFORMATION

スポーツ

☆11月のスポーツ☆

5日(金)・10日(水)・12日(金)

◇ファミリー卓球教室
〔19時～総合体育館〕

7日(日)

◇第8回町民ソフトバレーボール大会
〔9時30分～総合体育館〕

9日(火)・12日(金)・16日(火)・19日(金)
26日(金)・30日(火)

◇シェイプアップ教室
〔10時～総合体育館〕

10日(水)・17日(水)・24日(水)

◇ニュースポーツチャレンジデー
〔19時～総合体育館〕

10日(水)

◇バレーボールリーグ戦大会開幕
〔19時～総合体育館〕

14日(日)

◇第22回秋季町民卓球大会
〔9時～総合体育館〕

21日(日)

◇第7回親睦ソフトバレーボール大会
〔9時30分～総合体育館〕
◇空手支部大会兼実技講習会
〔9時30分～鳩ヶ丘体育館〕

27日(土)～28日(日)

◇体カづくりセミナー
〔27日/14時～総合体育館〕
〔28日/9時～総合体育館〕

町・民・憲・章

- ◇健康で働き楽しい家庭をつくりましょう。
- ◇自然を愛し美しい郷土をつくりましょう。
- ◇たがいに助け合い暖かい社会をつくりましょう。
- ◇心を豊かにし文化を高めましょう。
- ◇子どもの夢を育て平和な町をつくりましょう。

11月の健康相談・健診日程表

乳幼児

16日(火)〈標津〉
〔9時～10時・13時30分～14時30分/ひまわり〕

※午前の部 13カ月児 午後の部4・7・10カ月児対象

18日(木)〈川北〉
〔13時30分～14時30分/川北生涯学習センター〕

※4・7・10・13カ月児対象

■2歳児相談

16日(火)〈標津〉
〔9時～10時/ひまわり〕

18日(木)〈川北〉
〔13時30分～14時30分/川北生涯学習センター〕

■歯ピカ教室

8日(月)・9日(火)
〔9時30分～10時30分・13時30分～14時30分/ひまわり〕

■ちびっこランチ(幼児食)教室

11日(木)
〔10時30分～/ひまわり〕
※2歳5～8カ月児対象

成人

■一般健康相談

19日(金)
〔13時～15時/ひまわり〕

■糖尿病健康相談(予約制)

18日(木)
〔10時～12時/ひまわり〕

妊婦

■ママスクール

5日(金)
〔10時～12時/ひまわり〕

★お問い合わせは、保健福祉センター「ひまわり」(☎2-1515)までお気軽にどうぞ…。

ごみの収集日

一般廃棄物収集区域 (祭日は休みです)〈有料〉	可燃物	不燃物	資源ごみ 粗大ごみ
川北市街・伊茶仁・忠類・浜古多糠 薫別・崎無異・古多糠	水・土	16日(火) 30日(火)	10日(水) 24日(水)
新川上町・若草町・川上町・栄町 緑町・弥栄町・曙町	月・木	15日(月) 29日(月)	11日(木) 25日(木)
本町・鳩ヶ丘町・双葉町・望ヶ丘町・ 桜木町・住吉町・東浜町	火・金	15日(月) 29日(月)	12日(金) 26日(金)

★ごみは指定された日に指定された場所へきちんと出しましょう。

INFORMATION

税

年末調整・決算説明会 行われます

■個人（青色）事業者

日時：11月24日（水）

13時30分～15時30分

場所：町商工会

■法人、官公庁、個人（白色）事業者

日時：11月25日（木）14時～16時

場所：町商工会

★お問い合わせは、根室税務署（☎01532-3-3261）まで。

募集

自衛隊生徒を 募集しています

■資格

中学校を卒業（見込みを含む）している者で、平成12年4月1日現在で15歳以上17歳未満の男子。

■試験日 平成12年1月5日（水）

■募集締切 平成12年1月4日（火）

★お問い合わせは、自衛隊帯広地方連絡部中標津募集事務所（☎01537-2-0120）まで。

相談

「人権相談所」を開設します

根室人権擁護委員協議会と釧路地方方法務局根室支局では、次のとおり「人権相談所」を開設します。

費用は無料で、秘密は固く守られますので、お気軽にご相談ください。

■日時

12月7日（火）13時～16時

■場所 あすばる

■相談員 法務局職員、人権擁護委員

■相談内容

夫婦、親子、金銭貸借、不動産、相続、借地借家、いじめ、体罰、名誉信用、その他心配ごと

～私のまちな人権擁護委員～

疋田敏一さん（北1東1）

☎2-2103

井上 均さん（東古多糠）

☎4-2315

・同相談所以外でも人権擁護委員が随時相談に応じています。

環境

し尿の計画収集にご協力を ～従来の年末汲取りは行いません～

今年7月から、し尿の汲取り方法が「計画収集」に変更されたことに伴い、従来実施していた年末の汲取りの申込みは行いませんのでご理解願います。

なお、12月の汲取り実施地域は、標津市街、住吉町、東浜町、茶志骨地区、古多糠地区、北標津、西北標津、川北郡部となっていますので、汲取りを希望される方は、11月25日（木）までにお申込みください。

★申込み・お問い合わせは、住民課まで。

労働・雇用

最低賃金が 改定されました

■最低賃金額

日額 5,020円

時間額 628円

■効力発生日

10月1日

★お問い合わせは、釧路労働基準監督署（☎0154-42-9711）まで。

介護について考えてみませんか？

町では、次の日程で「介護教室」を行います。「寝たきり」とはどういうことなのか、寝たきりの方を介護するポイントなどをこの機会に学んでみませんか？

■日時・内容

11月25日（木） 10時～16時	・講義「寝たきり者の健康管理」「標津町の保健福祉サービス」・体験談発表
11月26日（金） 9時～15時30分	・講義「介護の考え方」「老人の食事」「老人の口腔衛生」 ・実技「離床の介護」「シーツ、寝衣交換」「食事の介護」
11月27日（土） 9時30分～15時5分	・講義「介護保険制度」 ・実技「排泄の介護」「清潔な介護」

■場所 保健福祉センター「ひまわり」

■申込締切 11月18日（木）

※全日程に参加できなくてもかまいません。

★申込み・お問い合わせは、ひまわり（☎2-1515）まで。

地域活性化のため 学卒者の採用を

高等学校卒業予定者の選考及び採用内定については9月16日から開始されているところですが、就職浪人が出ることが考えられる非常に厳しい就職環境となっています。

若年労働者の確保は、言うまでもなく地域及び企業の活性化に必要不可欠な重要課題です。

事業主の皆様には、進展する高齢化社会に対応し将来必要となる人材確保のため、今一度新規学卒者の採用計画をご検討され、ハローワークへ求人申込みをされますようお願いいたします。

★お問い合わせは、根室公共職業安定所中標津分室（☎2-2544）まで。

みんな	で	子供	達の
健全	育成	を!	

「親は形を産んでも心は生まない」と言われます。だから子育ての大切さがあるんです。また、口うるさく言われている三つの言葉に「早く」「きちんと」「ちゃんと」そしてよく言われる言葉に「あれをしなさい」「これをしなさい」とすべきことのみを教えているのも反省しなければと思う一人です。ユダヤ人は六百十三の戒律があつて「してはいけないこと」を徹底して教え、自分で自分は何をすればよいか考えるようにしているそうです。家

庭教育の大切さがわかるのではないだろうか。私はスポーツ少年団に係わりを持つ者として、スポーツを通して子ども達の健全育成をして行きたいと考えております。



たけし 武二 さん
対馬 武二 さん

(北6西2)

町内会連絡協議会勤務

スポーツは、われわれ人間の「こころ」と「からだ」の健全な発達を促すとともに、明るく豊かで活力に満ちた生きがいのある社会形成に寄与する人類共通のすばらしい文化の一つです。例年十月十日「体育の日」を中心に国民の間に、広くスポーツについての理解と関心を高

め、あらゆる地域や職域において積極的にスポーツに親しんでいる方も多く見られます。本町においても「ふれあいスポーツデー」として町民の健康・体力づくりと、ふれあいづくりを目的に色々なメニューを用意して町民に参加を呼びかけております。子ども達がスポーツから学んでもらいたいことは、努力の大切さ、楽しさ、忍耐力、チームワーク、そしてルールを守ることです。スポーツは勝ち負けの世界で、かつての力キケケコのスポーツ（かたく・きつく・苦しく・険しく・怖かった）をこれからはアイウエオのスポーツ（明るく・生き生き・うれしく・笑顔があり・面白い）として取り組みスポーツ少年団活動の活性化について更に努力をしなければいけないと思っております。子ども達のため、みんなで頑張りましょう。

◇ ◆

次の「まちの声」は土井裕さん（川北旭町）です。

は、努力の大切さ、楽しさ、忍耐力、チームワーク、そしてルールを守ることです。スポーツは勝ち負けの世界で、かつての力キケケコのスポーツ（かたく・きつく・苦しく・険しく・怖かった）をこれからはアイウエオのスポーツ（明るく・生き生き・うれしく・笑顔があり・面白い）として取り組みスポーツ少年団活動の活性化について更に努力をしなければいけないと思っております。子ども達のため、みんなで頑張りましょう。

編集のまど

▽衝撃が走った標津高校生殺害事件。前途ある少年の尊い命が瞬間の間に奪われてしまったことに、強い憤りを感じます。同じ子を持つ親として、やりきれない気持ちでいっぱいです。▽「集い」で掲載のように、事件の再発防止のため、決議文を採択。地域ぐるみでこれらの問題行動根絶のため、町民一人ひとりが真剣に立ち向かっていかなければなりません。まず、できることから一つずつ... (H)

▽日本管楽合奏コンテストの全国大会に向けて猛練習を積んでいる我が母校・川北中学校吹奏楽部の練習を取材。十二人という少ない部員の中での全国大会ですが、その分とまりは十分。活躍が期待されます。本番では、今までの練習の成果を発揮して頑張れ! (M)

人のうごき

- ・人口 6,526人 (+ 2)
- ・男 3,181人 (- 2)
- ・女 3,345人 (+ 4)
- ・世帯数 2,365世帯 (- 2)

◇平成11年10月1日現在
()は前月比

町内の交通事故

- ・人身事故 3件 (10)
- ・負傷者 8人 (15)
- ・死亡者 0人 (3)
- ・物損事故 17件 (173)

◇9月1日～9月30日まで
()は累計

広報しべつ

- ・発行日/平成11年11月1日
- ・編集・発行/標津町役場 総務部企画振興課 (広報統計担当)
〒086-1632 北海道標津郡標津町北2条西1丁目1番3号
☎01538-2-2131・FAX2-3011
- ・印刷/標津印刷(株)